



# みなさんと一緒にさらに活性化していく

和歌山電鐵常務取締役 渡邊寛人さん



和歌山電鐵は開業1周年を迎えましたが、この間和歌山電鐵の現場責任者として陣頭指揮でがんばってこられた渡邊常務取締役に決算見込みや今後の課題について伺いました。

## —開業1周年を振り返っての今のお気持ちは

皆様のご支援ありがとうございました。この1年やってこれたのは、皆様のご支援、ご協力のたまものだと思っており、それが一番ですね、あとは大きな事故がなく運行できたのが非常にうれしいことです。

## —この1年の決算から今後の課題は

単純に単年度で8270万位の赤字がでる訳ですね、この10年間は補助8200万がいただけるので赤字は70万という格好でやっていけるんですが、課題の1つは初年度の開業費用7770万が処理されず残っているのをどのように早めに償却していくかどうかということですね。

2つめは、初年度手つかずの道床、変電所、架線の交換とか修理ですね、それをやらなくても8300万の赤字が出るかなで、出来るのかという問題があります。それをしないと10年間もっていかないということで大きな課題ですね。

つくる会ははじめ皆さんから要望の多い大池遊園駅の対向設備の復活については、輸送サービスの一番ベストは便が多いことなので、チャンスをとらえて是非やりたいとおもっています。

## —住民や「つくる会」への要望を

皆さんが少しずつ私たちの駅、電車とっていただいてペンキ塗りや花壇作りに取り組んでいただいとうれしく思っています。もっとこうしてほしいという要望をあげていただいたら取り組みたい。7月の末には「おもちゃ電車」ができますので、是非見に来ていただきたい。それと地元の学校とか、会社とか、町内会等の会合に是非呼んでいただきたいし、逆に地域の中で駅や電車を使いたいとかいう事があれば遠慮なくご相談下さい。「つくる会」には非常によくいただいています。普段行動に参加できない方もたまに和歌山電鐵に遊びに来ていただければうれしいなと思っています。

## —決算見込みが明らかにりましたが、結果についてどう分析されていますか

18年度の赤字が1億5970万、そのうち初年度の開業費が約7700万ありますから、18年度単年度の赤字は8270万位の赤字かなと思っています。

お客様は、17年度の192万人から211万人に増え、初年度についてはほぼ予定した結果となった感じです。運輸収入は思ったより多かったが、皆さんが乗ってやろうと思っていただいたことと、いくらかは初年度のご祝儀で今まで乗らなかった方が一度乗ってやろうかということもあったと思うが、ここまで増えるとは思っていなかった、一つは「いちご電車」、一つは後半の「たま駅長」が貢献したのかな。

## —地方鉄道再生のモデルと評価されていることには

まだまだ取り組みに甘いところがあると思いますが、国土交通省から高い評価をしていただいていることは事実です。他に無いところは、地元、行政、事業者が開かれた所で定期的な会合を持って三者一体となっているところだろうと思っており、運営委員会という公式の場で議論できることはありがたいと思っています。

## 熱い思いで和歌山電鐵とともに

皆様には本会の活動のためにいつもご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。

早いもので、昨年4月1日の早朝和歌山電鐵による一番列車が貴志駅から出発してから、1年余りが経ちました。

この間、和歌山電鐵さんの熱意溢れる取り組みと沿線住民や県内各地、また他府県の方々からのご理解・ご援助のおかげで、順調な滑り出しをいたしております。

皆様にサポーターとなっていただきました『いちご電車』や貴志駅の『たま駅長』など全国的にも話題となった事柄をはじめ、年間49ものイベント等の開催など数多くの取り組みをしていただき、本会も会員の皆様と共に色々な活動をしてまいりました。

お陰さまで一昨年までは年間3から5%の割合で減り続

貴志川線の未来を“つくる”会  
代表 濱口晃夫

けていた乗客も昨年度通年で、前年比10.2%増と鉄道としては脅威的な伸びを示しております。

これらは貴志川線を愛し、育てていこうとご支援いただいた皆様の熱い思いによるところが大きいと考えています。

新生貴志川線を鉄道として存続させるための、第一歩が踏み出され順調に走っていますが、今後さらに日本中に誇れる地方鉄道として永続させていくためには、これからまだまだ超えなければならない山がいくつもあります。私たちは貴志川線を『日本一心豊かなローカル線』にするために、和歌山電鐵とともに更に取り組みの強化を図っていかねばなりません。

貴志川線をより利用し易い、楽しい鉄道とするための様々な取り組み、活動をしていこうと考えておりますので、今まで以上にご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

貴志川線をより利用し易い、楽しい鉄道とするための様々な取り組み、活動をしていこうと考えておりますので、今まで以上にご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。



'06.4.1  
喜びの開業式で小嶋社長と  
がちり握手を交わす濱口代表

'06.5.20  
「駅清掃第8弾」大池遊  
園駅清掃、3団体との協  
働で200人参加



'06.8.6  
「第1回貴志川線祭り」に、  
5000名参加  
「いちご電車」出発式



'06.11.3  
「第1回ペンキ塗り大会」岡崎前駅で  
150人参加、駅リニューアル

# つくる会 活動報告 No.8



'06.12.10~07.1.12  
貴志駅にイルミネーション、紀の川市と協力  
して飾りつけ



'07.1.5  
貴志駅に「たま駅長」誕生



'07.4.15  
開業1周年記念植樹  
「さくら街道貴志川線」の  
キックオフイベントとし  
て桜を植樹(伊太祈曾駅)



'07.2.25  
開業1周年記念勉強会  
毎日新聞水津記者を講師に  
70名参加



'07.4.1  
開業1周年記念式典で「つくる会」  
和歌山電鐵から感謝状を受賞



'07.5.6  
「第2回貴志川線祭り」(西貴志小)  
雨の中1500名参加、「世界一長い絵を描こう」  
などのイベントを楽しむ

# 2006年度会計決算報告

2006年4月1日～2007年3月31日

2006年度（平成18年度）会計決算がまとまりましたので、ご報告いたします。

○収入については、2006年度新規・継続をあわせて2850名の会員の会費と、前年度繰越金および寄付金、貴志川線祭りの収入、預金利息等です。

○支出については、慎重にかつ効率的な執行を図るとともに、各種行動については役員、会員の皆さんのボランティア活動をお願いし、節約を図ってまいりました。

○繰越金については、全額を2007年度（平成19年度）活動費として充当させていただきます。

## 〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,082,577	2005年繰越金
会費	2,850,000	2006年度会員 2850名×1000円
雑収入	210,805	寄付金(25名様)、貴志川線祭り出店、Tシャツ販売手数料、預金利息
合計	5,143,382	

## 〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	1,035,546	はがき、切手代、(会費納入・貴志川線祭り・勉強会案内、年賀状送付等)
郵便振込料	213,920	会費振込料(つくる会負担)2,167名分
事業費	243,051	貴志川線祭り、駅美化、勉強会、コミセンまつり、ペンキ塗り大会等
広告宣伝費	199,806	のぼり作成(つくる会、貴志川線祭り)インターネット費用
事務費	174,940	役員会会場費、封筒、宛名ラベル、各種文具(セロテープ、コピー紙等)
寄付	150,000	和歌山電鐵サポーター(10口)貴線祭協力金(5万円)
合計	2,017,263	

## 〈決算内容〉

収入	5,143,382
支出	2,017,263
次年度繰越金	3,126,119

## 〈繰越内容〉

普通預金	3,119,404	紀陽銀行国体道路支店
現金	6,715	
合計	3,126,119	

## 会計監査報告

2007年4月21日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好延 ㊞

監査 西村久代 ㊞

貴志川線の未来を“つくる”会規則第6条8項にもとづき、2006年度（平成18年度）会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2007年4月21日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務所
3. 監査対象 2006年度会計
4. 監査期間 2006年4月1日～2007年3月31日
5. 監査の結果 帳簿、証拠書類等、正確かつ適正に処理されており、不正の事実がないものと認めただので報告いたします。

以上

## マイステーション活動拡がる

貴志川線を育てていこうと各駅で利用者、住民の取組みが開始されていますのでご紹介します。

### ■吉礼駅にベンチを寄贈いただきました

2月22日、吉礼駅に会員の黒江重子さん（元吉礼地区在住）の寄贈で立派なベンチが設置され、また、自治会の努力で駐輪場が整備されました。

### ■竈山駅に花壇が設置されました

5月7日、和歌山市の三田地区の民生児童委員さん（12人）が竈山駅前の荒地を清掃し、花壇を設置、500本の花を植栽しました。

### ■甘露寺前駅のペンキ塗り替えが行われました

5月22日、貴志川高校の生徒の皆さんにより、甘露寺前駅のペンキ塗り替えが行われ、約2時間の作業で真っ白なきれいな駅に生まれ変わりました。

発行：貴志川線の未来を“つくる”会

和歌山市伊太祈曽558(伊太祈曽神社)TEL073-478-0053

発行者

濱口晃夫